



# 次世代につなげる森林づくり

R6.1.29 NO.50 号



令和6年1月22日、愛媛県鬼北町の南予森林アカデミーで研修生4名に、「**簡易な架線集材システムの設備及び操作演習**」を実施しました。

研修生は、これまで本格的な架線集材システムの現場視察や受講経験がなく、初めて聞く専門用語、初めて見る資材、そして当センター職員との土佐弁でのやり取りに戸惑いながらも熱心に設備の様子を確認していました。



最初に、架線による集材作業の現状と必要性、使用する集材機の索張り方式等、基本的な事項についての講義を受けた後、実際にエンドレスタイラー方式の架線設備の設置を体験してもらいました。



索張りが完成した後は、電動集材機による作業を体験しました。最初は、操作レバーの誤操作が目立ちましたが、当センター職員の厳しい？指導の下、最後は、全員が集材機の操作を習得することができました。

今回、体験してもらった「**簡易な架線集材システム**」は、実際の現場では、なかなか見ることでできない架線全体の配置状況を一目で確認することができるため、研修生からは、「初めて見る索張りではあるが、それぞれの架線の役割が理解できた」との感想が聞かれました。

また、安全に作業を行うための設備についても細かいルールがあることに驚いている様子でした。

最後に、当センター所長から、「今後、架線作業に携わる機会がありましたら、今回の研修のことを思い出して参考にしていただけましたら幸いです」との挨拶で終了しました。

今回の研修では、架線システム資材一式を現地に持ち込み、実際に集材を行うという初めの試みでしたが、私たちも、現地での作業を通じて、様々な問題点等を把握することができ、次回につなげるよい機会になりました。

森林技術・支援センターでは、今後も架線作業システムの技術継承の一助となるよう積極的に取り組んでまいります。

各種試験調査・見学のお問い合わせは  
四国森林管理局 森林技術・支援センター

☎ 088-821-2250  
e-mail [shikoku\\_gijyutu@maff.go.jp](mailto:shikoku_gijyutu@maff.go.jp)

